

医療法人鶴谷会鶴谷病院

所在地：伊勢崎市境百々421
労働者数：606名（女性445名、男性161名）
事業内容：一般病院等の運営
代表者：理事長 鶴谷 英樹



地域でオンリーワンの病院を目指す

子育て支援のきっかけは、出産による退職者が増えたこと、育児休業を取得して1歳まで休む職員が増えたこと。「今働いている職員を大切に、長く勤めてもらう」という理事長の方針が、取組みを加速させました。

事業所内保育施設の設置や、男性の育児休業促進、時間外労働の削減、年次有給休暇の取得促進、短時間正職員制度の導入等の取組みを進め、地域でオンリーワンの病院を目指します。

鶴谷理事長



無償で利用可能な事業所内保育施設

育児休業の取得者が増え、「保育園に預けられない」「希望する時期に預けられない」というケースが増加したことを背景に、事業所内保育施設を設置しました。

利用料は無償（給食費のみ）で、職員に大人気となっており、最終的には抽選会も実施することもあります。現在は月曜～土曜のみ開所していますが、日曜・祭日・夜勤の時間帯も利用したいという希望もあり、検討を進めています。

事業所内保育施設



子育て支援の効果

妊娠・出産等による退職者がいなくなり、人材が定着した。

子育て支援の取組みが口コミで伝わり、入職者が増加した。

「おたがいさま」の気持ち生まれ、職場の風通しがよくなった。

鶴谷病院の概要を紹介します。

- ・**二次救急医療機関**の指定を受け、月平均100台程度の救急車を受け入れており、専門外以外はお断りしないよう努力しています。
- ・**許可病床数**は320床。一般180床、療養(医療)52床、療養(介護)88床です。
- ・**診療科目**は内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科・消化器内科、外科・消化器外科・肛門外科・乳腺外科・内視鏡外科、整形外科・リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科、健診センター(人間ドック・一般健診)。

育児休業からの円滑な復帰に向けた支援

育児休業取得者の円滑な職場復帰に向けて、広報誌や、研修資料、制度改正や人事異動等の案内を送付しています。短時間勤務を利用する場合には、夜勤や時間外労働は免除し、土日は必ずどちらかは休みになるよう配慮します。

夏休みや、台風直撃で登校時間が遅くなった場合等、どうしても子供の預け先が見つからない時は、看護部長室を開放し、保泉部長が面倒を見ることもあります。「おたがいさま」の精神が根付いている表れです。

保泉看護部長



広がる「イクメン」の輪

産後8週間以内に取得した場合は、育児休業を有給としており、これまで5名の男性が取得。また、必ず周知が行きわたるよう、子どもが生まれる男性職員には所属長から趣旨説明をしています。

(育児休業を取得した、健診センター事務の綿貫辰也さんのコメント)
私は今回初めて育児休業を取得しましたが、その間に学んだことは沢山ありました。子供を持つ女性の大変さ、育児自体が私たち親の成長にも役立つこと、子供を育てることの重要性や夫婦の協力、親になるということの責任、自覚をより強く感じるようになりました。

男性の育児休業取得者
(綿貫さん)



育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…男性が5名、女性が36名取得(女性の取得率は100%)。出生日から8週間以内の休業は5日間まで有給。妊娠や出産等で退職した職員はおらず、休業後に管理職として活躍する女性もいます。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が小学校に入学するまで利用可能。女性24名が利用。
- ・**子の看護休暇**…子が小学校に入学するまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は年10日間取得可能。給与は全額支給しており、女性110名が利用。
- ・**事業所内保育施設**…子が小学校に入学するまで利用可能で、利用料は無償(給食費のみ)。利用者は1日あたり10名前後。
- ・**介護休業及び介護短時間勤務**…要介護状態の家族介護のため、通算93日間利用可能。

※ 取得率等のデータは、平成22年4月～平成24年12月までの実績

鶴谷病院は、働き方の見直しを進めています。

年次有給休暇の取得促進

- ・**時間単位**でも取得可能で、管理職からの周知や研修会等を通じて、積極的な取得を促しています。
- ・**取得率**は、平成24年の平均が33%。平成27年には50%になるよう、取組みを進めています。

時間外労働の削減

- ・**業務内容**を整理し、時間外勤務の実態を把握。定時で帰ることへの気兼ねを感じる職員もいたため、「仕事が無ければ帰って」と管理職が声掛けをし、残業の削減に繋がりました。
- ・**平成24年の実績**は、年平均68時間。

ワークライフバランス推進委員会の発足

看護職のワークライフバランス推進ワークショップ（看護協会主催）への参加を機に、推進委員会を立ち上げ、所定外労働削減や、多様な勤務形態の実現等に向け取組みを進めました。

今年度は、パート職員や短時間勤務制度利用者等も委員会のメンバーに加わっており、職員が共同で一つの目的に向かうという経験ができたので、職場の風通しがよくなり、職員間の良好なコミュニケーションに繋がっています。

ワークライフバランス推進委員



くるみんマークを人材確保に活用

くるみんマークは、名刺やホームページ、就職ガイダンス等に表示しており、看護師の募集に有利となっています。保泉部長も、マーク入りの名刺を全国に100枚以上配布するなど、くるみんマークの普及に向け日夜頑張っています。

平成25年度の均等・両立推進企業表彰（ファミリー・フレンドリー企業部門 群馬労働局長奨励賞）も受賞した鶴谷病院。他地域への看護力流出を防ぎ、地域で最後まで過ごせる看護の提供を目指します。

くるみんマークの活用



鶴谷理事長



医療業界への就職・転職・再就職を考えている方へのメッセージ

鶴谷病院は昭和29年に現在地に開院以来、地域医療のあり方に真摯に向かい合ってきました。高齢化社会の中で急増する急性期疾患への対応はもとより、慢性期医療についても充実した療養・介護サービスの提供に努め、地域に根づき、安心して受診できる医療機関を目標に、医療と介護を結ぶ地域医療完結型病院を目指しております。